



令和3年度 岩間中学校グランドデザイン

学校経営の理念：学校とは、日々勉学に励み、礼節を学び、身体を鍛え、理想を語り、夢や志をはぐくむところ

本県の教育目標
ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう しょうぶな身体をつくり たくましい心を養う 郷土を愛し協力し合う心を育てる

本校の教育目標
○校訓 自主に生き 望み大きく 健康であれ 自ら学び 心豊かで たくましい生徒の育成

笠間市の教育目標
知性を高め ひとりひとりのもちまえを伸ばす 自然や文化を大切に 郷土を愛する心をつちかう 豊かな感性をはぐくみ 健やかな身体を養う

岩間地区小中一貫教育の目指す児童・生徒像
 ～いわまで育てる、いわまで育つ～
 あいさつのできる子 ふるさと「いわま」を愛する子

目指す学校の姿
・生徒一人一人を大切にできる学校 ・清潔で明るく安全な学校 ・保護者・地域に開かれ、信頼される学校

目指す生徒の姿
・自主的に学び、夢や希望を持つ生徒 ・豊かな心を持ち、気品のある生徒 ・たくましい意志と体力を持つ生徒

あるべき教師の姿
○ 子供たちと共に夢や志を語る教師 ・使命感があり、明るく活力に満ちた教師 ・指導力に富み、生徒の気持ちを理解できる教師 ・広い見識を持ち、人間性豊かな教師 ・教育という仕事に誇りを持つ教師

学校経営目標
「明日の待たれる 豊かな学校づくり」 ～精一杯・丁寧に・心を込めて～ 1 共通目標（達成意欲） 成就感・達成感 2 仲間（つながり）所属感・連帯感 3 役割（貢献意欲）自己有用感・自己効力感

令和3年度の重点
重点1：授業改善への取組 「解くよりも問う力の育成」 重点2：学校課題への継続的取組 (1) 学力向上（一人一端末の活用） (2) 不登校解消への一層の取組 (3) 特別支援教育の充実（合意形成） (4) 体力・運動能力の育成

働き方改革
○教職員の意識改革 ○業務のカット、キャップ、効率化 ○記録（評価）の積み重ね ○組織を生かした取り組み （地域コミュニティを生かした取組） ○達成感・充実感の獲得 勤務時間外在校時間 45h/月の実現

確かな学力の向上	豊かな心と実践力の育成	健やかな心身の育成	主体性と積極性
【基礎的・基本的な知識・技能の定着】 ・課題とふりかえりの徹底 ・学習形態の工夫 ・「学習のきまり」の徹底 【思考力・判断力・表現力の育成】 ・学び合いの実践 ・自分の言葉で表現する時間の確保 【主体的に学習に取り組む態度の育成】 ・一人一端末の活用、反転授業の実施 達成目標：県学診県平均+5P	・班活動の充実 ・道徳の授業の完全な履行 ・SGE,SSTの実施 ・「かがやき」「明日を生きる」「笠間志学」の計画的活用 ・「いじめ防止」スローガンの作成 ・情報モラルの当事者意識の徹底 達成目標：自己肯定感の高い生徒80%	・新しい生活様式の定着に向けての取組 ・健康タイムの実践 ・保健体育の授業の充実 ・部活動の適切な計画と実践、自主的態 度の育成 ・「食育タイムの実践」「薬物乱用防止 教育プログラム」の計画的実施 達成目標：体力テストA+B 60% 部活動への自主的態の生徒意識80%	・生徒会・専門委員会活動の活性化 ・黙勤清掃の実施 ・一人一役による係活動の実施 ・各学年における生徒主体の行事等の実施 ・各学級・学年におけるリーダーの育成 ・キャリアパスポートの活用 達成目標：生徒会・専門委員会の主体的活動 目標達成者80%

教育環境の整備	教職員の資質向上（人材育成）	信頼される学校づくり
【物的環境の整備】 ・複数職員（月交替）での安全点検実施と早期修繕 【安心・安全の確保】 ・通学路の安全確保、多様な避難訓練の実施、情報教育の充実 【インクルーシブ教育の推進】 ・生徒一人一人の課題に対応した合理的配慮の合意形成、支援会議、ケース会議による共通理解と実践、保護者への発達障害に関する啓発 【小中接続に関する取組】 ・岩間地区小中一貫教育での小中学校の連携 達成目標：地域との連携、ケース会議等の実践 各5例以上	【教職員の資質向上】PDCAサイクルを意識して ・自己申告書の活用、校内研修の充実、校外研修（オンライン等）の充実、遠隔授業の実践（全職員で） 【中堅・若手の育成】 ・OJTの観点を生かした人材育成 ・個々の「もちまえ」を生かす校務分掌の配置と日頃の言葉の掛け合いによる学校運営への参画意識の高揚 ・市新探講師指導員との連携 【授業におけるICTの活用】 ・ICTサポーターの活用 ・ベテランと若手の学び合い 達成目標：相互公開授業研修 各自1回以上 学校運営への参画意識（はたらきがい）80%	【家庭・地域との連携】 ・日々の良さの連絡、学校メールによる迅速な情報発信、意見、要望への迅速な対応、「学校公開日」「個別面談」の実施と充実、保護者や地域ボランティアの活用 ・学校運営協議会との連携 【服務規律の確保に向けた取り組み】 ・コンプライアンス委員会の設置と外部人材による研修の実施 ・当事者意識を高め、風通しの良い職場づくりを目指し、ボトムアップ形式の職員研修を充実させる。 ・管理職による教職員一人一人の個性や嗜好に応じた言葉かけに努める。 達成目標：保護者の学校への肯定的意見 80%

組織目標	グループ目標			
	1学年	2学年	3学年	特別支援
学び合う集団作り ～笑顔と感謝～ 笑顔と感謝を通して、生徒も、教職員も、お互いを高め合える集団	○ 中学校生活の基本的な生活態度の育成に努める。 ○ 学習に主体的に取り組む生徒の育成を図る。	○ 基本的な生活習慣を身につけ、周囲のかかわり方を大切にできる生徒の育成 ○ 基礎基本的な学力を身につけ、主体的に学習に取り組む生徒の育成	○ 相手を思いやる人間関係を築くとともに、望ましい生活態度の育成に努める。 ○ 基礎基本的な学力を身につけ、主体的に学習に取り組む生徒の育成	○ 個々の個性や能力に応じて協同して成長する集団の育成を図る。 ○ 個のニーズに応じた支援を徹底し、基礎基本の定着を図る。
	○ 教職員が笑顔を持って働けるような職場環境づくりに努める。 ○ 教職員の人材育成に向けて、授業改善にPDCAサイクルを意識して計画的に行う。			

研究テーマ「学び合う集団を育む授業づくり」
 ～教科・道徳をとおして、「解くよりも問う力の育成」を目指し、PDCAを意識した授業づくりで基礎基本の定着を図る～